

カットデータ等は下記 URL からダウンロード可能です。
URL : <https://bit.ly/3HzXGtz>

報道関係者各位

2021年12月1日
日本たばこ産業株式会社

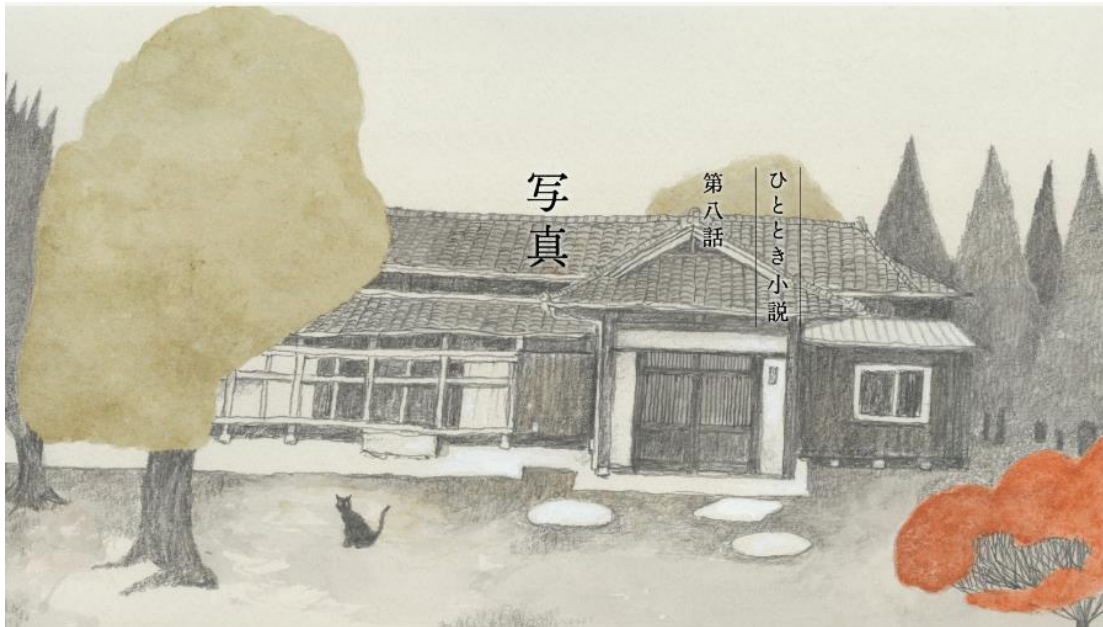
**JT Web サイトトップで公開中！ 30秒で心が温まる超短編「ひととき小説」
『ピンポン』『Sunny』『鉄コン筋クリート』等で有名な漫画家
松本大洋さんがフルカラーイラストを描き下ろし！**

日常にある「ささやかな幸せ」をテーマに、ある家族の思い出を描く感動物語

2021年12月1日（水）11:00より公開スタート

<https://www.jti.co.jp>

日本たばこ産業株式会社(以下 JT、本社：東京都港区、代表取締役社長：寺島 正道)は、12月1日（水）に漫画家・松本大洋さんが作画を担当した超短編小説「ひととき小説」を JT Web サイト上で公開しました。



「ひととき小説」は、JTの企業理念である“ひとときを、想う。”に基づき、職場の同僚や家族など人間模様を描くイラスト付きのオリジナル小説です。30秒で読める超短編でありながら、日常の中にある「ささやかな幸せ」に気付くきっかけとなることを目指しています。2021年5月より月刊ペースで公開され、これまで7名のイラストレーターがそれぞれのテイストで各話のイラストを描いてきました。

12月1日（水）公開の第八話「写真」では、年末の締めくりにふさわしく『ピンポン』『Sunny』『鉄コン筋クリート』等で知られる漫画家・松本大洋さんが作画を担当。人が人を想うときの微妙な心理描写、どこか郷愁が漂うような空気感といった松本さんの魅力が存分に発揮されている叙情的な絵にご注目ください。

なお、「ひととき小説」は、公益社団法人日本アドバイザーズ協会 デジタルマーケティング研究機構が開催する第9回 Web グランプリ「企業グランプリ部門」にてコーポレートサイト賞・優秀賞を受賞しました。

松本大洋さんコメント

温かく優しい言葉に寄り添う絵作りを考えました。

悪目立ちはしないよう、見てくれた人の気持ちやすこし安まるような、そんな感じになるといいなと思って描きました。

JT「ひととき小説」とは

なんでもない日常にある「ささやかな幸せ」。
それに気づくかどうかで、
ちょっと毎日は楽しくなる。
見方を変えれば、生き方も変わってくる。
「ひととき小説」はそんな日々の
ちょっとした気づきが大切であることに
気づかせてくれる小さな小さな小説です。

ひととき小説ページ：

https://www.jti.co.jp/cw/novel/index.html?utm_source=PR&utm_medium=Article&utm_campaign=novel8

ひととき小説アーカイブページ：

https://www.jti.co.jp/cw/novel/archive/index.html?utm_source=PR&utm_medium=Article&utm_campaign=novel8

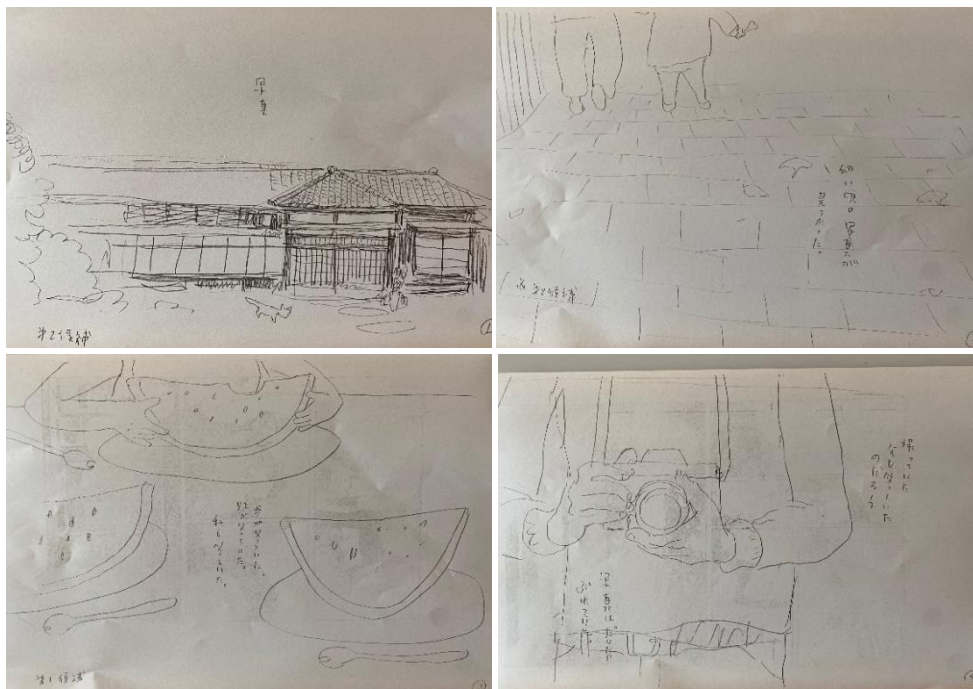
ひととき小説 第八話「写真」のあらすじ

「ひととき小説」は、一話読み切りの形を取りながらも、各話の登場人物がゆるやかにつながっていて、全体でも一つの話になっているタイプの読み物です。中心となる登場人物は、飄々としながらたまにいいことを言う先輩、日々の仕事や恋愛に一生懸命な若手男性、明るく純粋で情に厚い新人女性という会社の同僚3人。その3人や周りの人との「なんでもないけれど、かけがえのない人生のひととき」を毎回切り取っていきます。

第八話では、先輩とその家族の思い出と現在の話が描かれています。第二話で語られた父との関係。成長した家族とともに先輩は何を想うのか。第二話のイラストに出てきたある小物が物語を演出する伏線になっています。

短いながらも深い余韻を残すお話と、松本大洋さんの心に染みるイラスト。ぜひ登場人物の心情や人柄や人生を想像しながらお楽しみください。ご自身のたいせつな人を想うきっかけになるかもしれません。

制作段階のラフ画



12月 ひととき小説 第八話「写真」のひとこと解説

写真は一瞬の光景を切り取ったものです。

あたり前ですが、音も言葉もありません。

なので、見る人はその前後の時間や、その時の会話や、撮影者の気持ちなど、

写真には写っていないところまで想像します。

写真はただの動かない映像ではなく、撮影者と被写体の関係性が映し出された物語。

動画より情報量が少ない分だけ、想像力の入り込む余地がある。

情報過多な現代が忘れかけているたいせつな何かを、一枚の写真は教えてくれる気がします。

松本大洋さんプロフィール



松本大洋 漫画家

著書に『ZERO』『花男』『鉄コン筋クリート』『ピンポン』『ナンバー・吾』『竹光侍』『Sunny』『ルーヴルの猫』などがある。現在、ビッグコミックオリジナル増刊号にて『東京ヒゴロ』を連載中。

これまでの「ひととき小説」

5月のひととき小説：第一話「迷路」

屋上で“人生は迷路かもしれない”と自分に自信をなくし悩む会社員が、先輩から“迷ったときは選んだほうが正解だ”と言われるひとときを、イラストレーターのなかむら葉子さんが繊細なタッチのイラストで表現しました。



6月のひととき小説：第二話「父」

青年期に亡くなった父の言葉を思い出し、自分の成長と時の流れの速さに思いを馳せる登場人物の初夏のひとときを、イラストレーターのズキタカノさんがカラフルなタッチのイラストで表現しました。



7月のひととき小説：第三話「失敗」

社会人1年目の会社員である登場人物が、自身の仕事上での失敗をきっかけに先輩の新しい一面を知り、その語り口に淡い恋の予感を感じるひとときを、イラストレーターの田口実千代さんが鮮やかなタッチのイラストで表現しました。



8月のひととき小説：第四話「願い」

第三話で登場した社会人1年目のみゆきさんとの恋の成就を神様に願う後輩。その背中を第一話に登場した先輩が後押しするひとときを、イラストレーターの中村隆さんが爽やかな色合いの点描で表現しました。



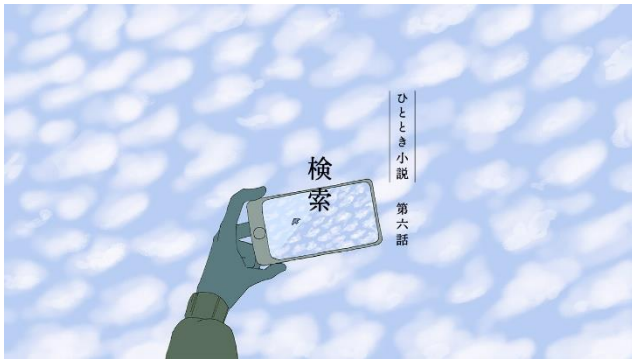
9月のひととき小説：第五話「片想い」

第四話「願い」から1年後、社会人2年目になった登場人物のみゆきさんと、みゆきを想う母の日常のひとときを、イラストレーターのしらこさんが柔らかなタッチで表現しました。



10月のひととき小説：第六話「検索」

第五話「片思い」からさらに1年後、社会人3年目となり悩みが増えた登場人物のみゆきさんが、自分と同じ悩みを抱えていた若かりし頃の父に思いを馳せるひとときを、イラストレーターで漫画家のカシワイさんが表現しました。



11月のひととき小説：第七話「向かい風」

上司からの言葉に納得のいかない30歳の会社員を、40歳の先輩が会社の屋上でなだめる仕事時のひとときを、イラストレーターのしまぎきジョゼさんが柔らかなタッチで表現しました。

